

94年広島アジア大会で空手「金」阿部さん



東海学園大で講演

広島アジア大会の空手男子形個人で金メダルを取った経験を語る阿部さん＝みよし市福谷町の東海学園大で

1994年に広島県で開かれたアジア大会の空手男子形個人で金メダルを獲得した阿部良樹さん(59)の講演が7日、みよし市福谷町の東海学園大学三好キャンパスであった。スポーツ健康科学部の1年生と地域住民ら計260人が耳を傾けた。

阿部さんは24歳で日本代表に選ばれ、91年のアジア選手権で優勝したのを皮切りに、全日本選手権8連覇や98年の世界選手権優勝など、日本の空手形を長年けん引。引退後は指導者として活躍し、現在は出身地の宮城県の道場で、次世代の育成に励む。

講演では、競技人生を振り返り、学生たちにエールを送った。小学5年から競技を始めたものの練習環境に恵まれず、1人鏡の前で稽古していたという。それでも筋トレや走り込みを欠かさず、努力を怠らなかつたことが成功の礎になったとし、「チャンスが来てから頑張るのではなく、その前に準備ができているかが大事」と強調した。

アジア大会が32年ぶりに日本で開催されたのを機に大学が企画した。講演を聞

「チャンス来る前の準備が大事」

いた堀川結愛さん(19)は「自分がやっていることが未来につながると信じて考えて行動したい」と振り返った。

(堀百花)